

2021 年度ゼミ (4001 演習 3A/3B) 要覧

担当者名	竹尾茂樹
演習テーマ	比較文化の視点から見た社会変動
内容 と 卒業論文の 指導方針	卒業論文制作とその協同的な検討を中心とする。前半には文献講読を行うが、各自の論文の構想の報告、ドラフトの提出を、時期を区切って求める。
メール・アドレス	takeo@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	木曜昼休み、必ず事前連絡を。それ以外の時間帯は応相談。
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタートアップは共通テキストを読む。 ・ リサーチトピックを5月中に確定すること ・ テーマに沿って先行研究をはじめ、データ収集を ・ 小さなドラフトから書き溜めて、ワークショップを行う（ピアレビュー） ・ 春学期中には、骨子と導入部分、本論まで書き始めることを目標に ・ 8/31 提出のドラフトをベースに卒論完成を目指す ・ 11月からは、個別相談を中心に行う。オフィスアワーで面談するが、必ず2日前までにドラフトを提出すること。 ・ 完成原稿については、受講生間のピアレビューを行う（報告会など）
学習目標	<p>4年間の学修の集大成としての卒業論文を自分の納得のゆく形で準備して行くこと、それをゼミの中で共有化すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題を無つけて、これに取り組む能力の育成 ・ テーマに沿った情報の収集能力を身につける ・ 収集して情報を整理して、自身の分析資格を加えること ・ ゼミの中でのプレゼンテーション・ディスカッションなどでアウトプットを
授業計画	<p>【第1回】 導入 スケジュール・卒論制作の手順確認</p> <p>【第2回】 岩井克人『会社はこれからどうなるのか』（2009, 平凡社）①</p> <p>【第3回】 同上②</p> <p>【第4回】 同上③</p> <p>【第5回】 同上④</p> <p>【第6回】 卒業論文構想のプレゼンテーション① ワークショップ</p> <p>【第7回】 卒業論文構想のプレゼンテーション② ワークショップ</p> <p>【第8回】 卒業論文構想のプレゼンテーション③ ワークショップ</p> <p>【第9回】 卒業論文構想のプレゼンテーション④ ワークショップ</p> <p>【第10回】 卒業論文構想のプレゼンテーション⑤ ワークショップ</p> <p>【第11回】 卒業論文構想のプレゼンテーション⑥ ワークショップ</p> <p>【第12回】 卒業論文構想のプレゼンテーション⑦ ワークショップ</p> <p>【第13回】 卒業論文構想のプレゼンテーション⑧ ワークショップ</p> <p>【第14回】 卒業論文構想のプレゼンテーション⑨ ワークショップ</p>

	<p>【第 15 回】卒業論文構想のプレゼンテーション⑩ ワークショップ</p> <p>【第 16 回】導入 スケジュール・卒論制作の手順確認</p> <p>【第 17 回】卒業論文構想のプレゼンテーション① ワークショップ</p> <p>【第 18 回】卒業論文構想のプレゼンテーション② ワークショップ</p> <p>【第 19 回】卒業論文構想のプレゼンテーション③ ワークショップ</p> <p>【第 20 回】卒業論文構想のプレゼンテーション④ ワークショップ</p> <p>【第 21 回】卒業論文ドラフトのプレゼンテーション⑤ ワークショップ</p> <p>【第 22 回】卒業論文ドラフトのプレゼンテーション⑥ ワークショップ</p> <p>【第 23 回】卒業論文ドラフトのプレゼンテーション⑦ ワークショップ</p> <p>【第 24 回】卒業論文最終稿のチェック①ワークショップ</p> <p>【第 25 回】卒業論文最終稿のチェック②ワークショップ</p> <p>【第 26 回】卒業論文最終稿のチェック③ワークショップ</p> <p>【第 27 回】卒業論文最終稿のチェック④</p> <p>【第 28 回】卒業論文最終稿のチェック⑤</p> <p>【第 29 回】卒業論文報告①</p> <p>【第 30 回】卒業論文報告②</p>
予習	ワークショップの準備
復習	毎回コメントシートによって、ピアレビューを行う
授業に関する注意事項	卒論のドラフトの締切は、①卒論のドラフト 5000 字を 7/15 までに提出、② 8/31 1 万字 ②11/30 最終稿（目次・注もつけて）。いずれも PDF で。提出期限遅れについては、添削を行わないので注意を。
教科書	岩井克人『会社はこれからどうなるのか』（2009, 平凡社）
参考書	『アカデミックリテラシー・ハンドブック』（教養教育センター）
成績評価の基準	出席とディスカッションへの参加 40%、プレゼンテーション 2 回 30%、卒論報告会 30%
関連 URL	
備考	